

産地戦略

実施期間 令和7～12年度

実施主体 たむら地区ピーマン専門部会グリーンなサポート事業協議会
 都道府県 福島県
 対象地域 田村市、三春町、小野町
 対象品目 ピーマン（施設栽培）



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

● 化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

当管内のピーマン部会では、多くの栽培者が防除暦を基に化学農薬を使用した定期的な防除を行っているが、部会の過半数がみどり認定の取得に取り組む等、みどり戦略に向けた取り組みを進めている。そこで、本事業を活用して天敵農薬及び環境測定装置を導入することにより、化学農薬を削減する環境に優しい栽培技術を導入する。さらに農薬散布回数の削減による省力化を目指す。また、環境測定装置によりほ場環境を把握するため、遠隔で施設内の温湿度等の環境を把握できるようにし、栽培管理の軽労化を図る。

現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名					収穫								
				防除									
				ほ場見回り									
技術名				化学農薬による防除									



グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名					収穫								
				防除									
				ほ場見回り									
技術名				天敵製剤設置									
				環境測定装置によるほ場確認									

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R6	目標R12	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	20	▶ 20	
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	0	▶ 2	
環境にやさしい栽培技術の取組面積（ha）	0	▶ 2	
省力化に資する技術の取組面積（ha）	0	▶ 2	

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境 省力	化学農薬のみの防除	▶ 天敵資材を活用したIPM	化学農薬の使用回数の削減 薬剤抵抗性の発生リスク軽減
省力	経験や感覚を元にしたほ場確認	▶ 環境測定装置によるほ場確認	ほ場確認時間の削減

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境 省力	化学農薬の使用回数（回）	20	▶ 10	
省力	ほ場確認時間（時間）	10	▶ 5	
			▶	
			▶	

* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）

* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

当事業で検証した結果やこれに基づいたマニュアルを作成し、ピーマン生産者に広く周知する。

関係者の役割

関係者名	JA福島さくらむら統括センター 営農課	県中農林事務所 田村農業普及所	JA全農福島	田村市、三春町、小野町
役割	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会の開催 ・生産者、メーカーとの連絡調整 ・技術指導、データの収集支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会の開催支援 ・マニュアルの周知、改訂 ・栽培技術支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・資材情報提供 ・技術情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活用支援 ・情報提供

その他